

資料1 チェックリスト（がんゲノム検査の適応の確認）

1)～4)すべてが「はい」でないと、がん遺伝子パネル検査はお受けできません。

1) 転移・再発を伴う悪性腫瘍（固形がん）で根治的治療の適応ではない。（注1）	はい・いいえ
2) 標準化学療法が終了しているか、終了が見込まれる。（注2）	はい・いいえ
3) 現在のパフォーマンスステータスが0～1である。	はい・いいえ
4) 6か月以上の予後が見込まれる臨床経過である。（注3）	はい・いいえ
5) 病理組織標本のアーカイブがあり、HE標本と未染プレパラートの提出が可能である。（セルブロック・細胞診は不適）（注4）	はい・いいえ
※ <u>腫瘍の表面積が25mm²以上である。</u>	

注1) 根治的治療の適応がある症例、術後未再発の症例はがん遺伝子パネル検査の適応外です。固形がんには上皮性腫瘍以外に悪性軟部腫瘍（肉腫）を含みます。

注2) 「標準的治療が終了している」とは、保険適応のある治療全てが終了していることとは同義ではありません。

注3) がん遺伝子パネル検査は検査報告までおよそ2-3か月を要します。
病状により、余命が3～4か月と考えられる場合はご遠慮ください。

注4) 十分な量の組織検体がない場合や、5年以上の古い組織検体しかない場合などは、紹介状にご記入くださいますようお願いいたします。